

# タックル



令和6年1月1日

発行: 山田宏よい国後援会機関紙

# ニュース

## 足元を固め、 新たな芽を育む年に。



明けましておめでとうございます。

今年は「甲辰(きのえ・たつ)」の年。「甲」は植物の芽が殻を被って芽吹く象形文字、「辰」は手偏をつけると「振」、雨冠をつけると「震」。つまり今年は新しい時代の芽が芽吹く年であり、しかし芽にはまだ古い殻があり新旧の狭間での振動、激動も伴うので、今年は足元を固めつつ新たな芽を丁寧に育て明日を拓く年にしていきたいと思えます。

### 診療報酬改定をめぐる攻防

4月からの診療報酬改定は0.88%のプラス改定(前回は0.43%)となりました。この0.88に医科での効率化分0.25を加えた1.13が全体の財源になります。そこから0.61を歯科衛生士も含めたコメディカルの賃金アップに、0.06を病院の食糧費のアップに充て、残りの0.46%を医科歯科調剤で配分すると、歯科には概算で200億円程度(前回は89億)の財源が充てられると考えられます。今後社団を中心に検討される点数配分においては、初再診料の医科歯科格差の是正など今後の賃金上昇や物価高騰に配慮した対応が求められます。

しかし今回の改定は、マイナス改定を主張する財務省と物価高や人件費で危機感を抱く医療界との熾烈な攻防でした。11月9日の厚労委員会で私が4%以上のアップを主張したのは、マイナス改定の財務省に対して3%台を主張する厚労省を政治



▲自民党政調全体会議で診療報酬の大巾アップを主張

面から後押しする意図でしたが、財務と厚労の大きな溝は12月になっても埋まらず、医師会代表の羽生田議員も12月7日の厚労委員会で「7%以上」とさらにハードルを引き上げる主張をしたほどでした。それでも最後まで財務省は0.25%、厚労省は1.5%とかなりの開きがあり、最終的には0.88という総理裁定となったのです。



### 「国民皆歯科健診」は 着実に前進

「国民皆歯科健診」推進事業は、昨年引き続き簡易な検査方法の開発を進め、その検査結果を確実に治療につなげる制度設計を合わせて検討することになりました。そしてできれば来年からは、新しい検査方法による歯科健診のモデル事業を職場、地域、施設等の一部で開始し、暫時モデル事業を拡大しつつ、同時に口腔の健康が全身の健康や医療費に与える影響等に関

するエビデンスを蓄積し、本格的な「国民皆歯科健診」実現に向け将来の労働安全衛生法等関連法令の改正に繋げたいと考えています。

また一部野党の了承が得られていない国民皆歯科健診の理念を明記した「歯科口腔保健推進法」の改正についても、今年成立を期してまいります。

「国民皆歯科健診」が実現すれば、当然ながら診療所への患者の急増が予想されます。せっかく早期発見・早期治療につながっても、診療予約がなかなか取れないとか、技工物の出来上がりが3ヶ月後などとなれば「国民皆歯科健診」実施の意味がありません。そこで歯科衛生士や歯科技工士不足への抜本的な対策や、それに対応する診療体制の充実も「国民皆歯科健診」の実現とともに併せて検討していく必要があります。

### 紙の保険証廃止問題

昨年11月の厚生労働委員会で私は質問に立ち、武見厚労大臣に対し今年のマイナ保険証への移行と従来の保険証廃止の方針について、岡山県歯科医師会が行ったアンケート調査をもとに現場の不安と危惧を訴え、大臣から「令和6年の秋以降も一年間は紙の保険証を併用していく」との方針が出されました。またカードリーダー等の不具合でマイナ保険証が使えなくなった時に備え、保険証の券面情報の別途郵送やスマホのマイナポータルアプリへの券面情報の配信も検討されることになりました。これからも制度移行に伴い診療現場の混乱がないようしっかりと対応していきます。本年もどうかよろしく願っています。

山田宏の厚生労働委員会質疑  
診療報酬・マイナ保険証・  
国民皆歯科健診

11月9日に山田宏は厚生労働委員会  
の与党筆頭理事として武見厚労大臣に  
対し質問に立ちました。

令和5年11月9日参議院  
厚生労働委員会での質疑の  
様子はこちらからご覧ください。  
【字幕付き】



▲令和5年11月9日参議院厚生労働委員会での質疑

マウスガード義務化の効果を聴取  
スポーツ歯科支援議連で

11月7日、スポーツ歯科支援議連（遠藤利明会長・山田  
宏事務局長）は、スポーツ協会所属団体で、マウスガードの  
着用義務化を実施している日本ラグビーフットボール協会、  
全日本空手道連盟、そして日本ボクシング協会の3団体か  
ら実施状況と効果や課題についての説明を聴取し、今後の  
マウスガードのさらなる普及に向けての協議を行いました。  
中高校では、バスケットボールやサッカーや野球などの球  
技による口腔内裂傷等が、小学校では鉄棒や跳び箱などの  
器械体操でのケガが多いことも踏まえながら、議連として  
は他の競技団体へのマ  
ウスガードの普及の支  
援の方策を検討してい  
きます。

また、疾病ではない  
ためにマウスガードへ  
の保険適用には課題が  
多いため、補助金や基  
金の活用なども含め今  
後研究していきます。

▲スポーツ歯科支援議連で  
挨拶する遠藤利明会長



口腔機能管理の重要性と  
病院歯科の必要性を議論  
歯科口腔医療研究会

平成28（2016）年に山田宏が立ち  
上げた自民党の議連「歯科口腔医療研  
究会」は、新会長に加藤勝信前厚労大臣  
が就任され、10月30日には東京都健康  
長寿医療センター病院の歯科口腔外科  
部長の平野  
浩彦先生よ  
り「高齢者の  
口腔機能管  
理の重要性」  
について、11  
月20日には  
日本病院会  
会長の相澤  
孝夫先生よ  
り「医療にお  
ける歯科の  
重要性」につ  
いて、それぞ  
れご講演を  
いただき議  
論を深めま  
した。



▲自民党歯科口腔医療研究会



「山田宏のYouTubeチャンネル」  
（毎週土曜日配信）  
月1回歯科のテーマでお話しています。



「山田宏の  
デンタルマガジン」  
月2回配信中!



山田宏（やまだひろし）  
プロフィール（2024.1現在）  
参議院議員  
自由民主党 副幹事長  
朝日大学歯学部客員教授  
.....  
昭和33年（1958年）1月8日生まれ。  
京都大学法学部卒業。  
松下政経塾第2期生。  
東京都議会議員（2期）・  
衆議院議員（2期）・  
杉並区長（3期）

山田宏よい国後援会  
歯科部会にお入り  
ください!

「生涯を通じた歯科健診」の法制化を目指し、歯科  
口腔医療の大切さが広く国民に浸透するよう働いて  
まいります。ぜひ、ご入会いただき山田宏の活動を  
ご支援いただけますようお願い申し上げます。



山田宏の日々の活動は、ホームページ、フェイスブック、  
ツイッター、YouTubeでご紹介しています  
山田宏公式サイト：  
[www.yamadahiroshi.com](http://www.yamadahiroshi.com)  
山田宏公式Facebookページ：  
<https://www.facebook.com/yamadahiroshi.page/>  
山田宏公式ツイッター：  
[@yamazogaikuzo](https://twitter.com/yamazogaikuzo)



お問い合わせは  
こちらにお願い  
いたします。  
山田宏 国会事務所  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1205号室  
Tel.03-6550-1205 Fax.03-6551-1205